

公衆衛生学

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・伊藤僚子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：40

■ 授業概要

公衆衛生看護活動の基礎となる公衆衛生について基礎的知識を教授する。日本や世界の人々の健康問題を統計からとらえ、それらに影響を及ぼしている社会の諸要因について解説する。また、現在実施されている公衆衛生対策を紹介し、公衆衛生的視点から、疾病予防や健康増進の地域での展開方法、健康問題の解決方法について解説する。

■ 到達目標

1. 公衆衛生の理念と概念および公衆衛生活動に関連した法令を理解し、説明できる。
2. 公衆衛生統計をとおして地域の健康問題と課題を把握し、その解決方法を理解し、説明できる。
3. 現在行われている生活習慣病対策、感染症対策、環境問題対策など、公衆衛生対策を理解し、説明できる。

■ 教育内容

健康支援と社会保障制度、保健統計学

■ キーワード

公衆衛生、健康増進、地域活動

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	公衆衛生とは何か	公衆衛生の理念と概念	伊藤
2	公衆衛生システムと政策	国と地方公共団体の役割、専門職の役割	伊藤
3	公衆衛生のものさし	統計情報の収集と見方	伊藤
4	公衆衛生活動の展開	日本人の健康と課題 活動例を交えて	伊藤
5	危機管理の公衆衛生 I	健康危機管理と災害時の支援活動	伊藤
6	危機管理の公衆衛生 II	感染症対策のシステムと最近の動向	伊藤
7	学校・産業保健における公衆衛生	学校保健、産業保健の目的と概要	伊藤
8	環境保健	地球環境汚染と健康	伊藤

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

グループワークの評価（20%）、試験による評価（80%）

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

希望者に対して試験のフィードバックをメールにて行う。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
健康支援と社会保障 ② 公衆衛生

■ 参考書・参考資料等

- ・宮松直美他著（2025）『標準保健師講座 4 疫学・保健統計学 第4版』医学書院

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前に教科書を読んでおく。
 - ・授業後に配付資料とノートを用いて90分程度の復習を行い、内容の理解度を確認すること。
- その他詳細は授業時に提示する。

■ 担当教員からのメッセージ

講義は教科書とパワーポイントおよび配布資料を用いて実施する。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

連絡先は、初回の授業で提示する。

オフィスアワーは、授業の前後の10分。メールでも対応する。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

2001年～2003年 青年海外協力隊として、インドネシアの保健所に勤務

2005年 インド洋津波国際緊急援助隊に参加

2008年から専門学校、さらに2020年から大学で公衆衛生学の講義を担当（現在に至る）

2014年～ 特定保健指導に従事（現在に至る）

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

途上国における活動経験をふまえて、地域活動の理論と展開について専門的かつ実践的な講義を行う。

災害支援活動の展開方法について実践的な講義を行う。

特定保健指導経験から、個人や職場に対する生活習慣病対策の具体的なアプローチ方法について解説する。